

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

| | | | | | |
|------|---|-------------|-----|--|---|
| NO. | 88 | 地方公共 団体名 | 岡山県 | 消防団名 | — |
| 担当課 | 消防保安課 | | 連絡先 | Tel :086-226-7295 E-mail: syobohoan@pref.okayama.lg.jp | |
| 事業名 | 次世代の「纏(まとい)」育成支援事業 | | | | |
| 事業詳細 | <p>○ 事業の目的・必要性</p> <p>【目的】</p> <p>消防団は地域防災力の要として欠かせない存在であるが、少子高齢化等により団員数が減少し、平均年齢が上昇するなど、消防団の充実強化が課題となっている。今後も団員数の減少や、平均年齢の上昇などの傾向が続くと想定されることから、将来の消防団を担う若手団員の育成が急務である。</p> <p>【必要性】</p> <p>若手団員が所属市町村消防団の垣根を超えて研修・交流することにより、若手団員を育成支援し、消防団の充実強化に結び付ける必要がある。</p> <p>○ 事業内容</p> <p>次世代の「纏」育成支援事業実施要綱(認定要件込み)を作成し、県内消防団へ周知するとともに、認定候補者の応募を呼び掛けた。</p> <p>その後、津山市消防団から1名、美作市消防団から2名の応募があり、県での査定後、認定要件を満たしていると判断したため認定を行った。</p> <p>2月26日(日)に岡山市内にて、「纏」認定者3名への認定書及び認定バッジを交付したとともに、「纏」認定者3名からの活動事例の発表や、県内各地の女性消防団員や、役場職員の団員等7名(倉敷市、玉野市、美作市、美咲町)との意見交換を行った。</p> <p>なお本事業の実施にあたっては、(一財)岡山県消防協会と随意契約にて業務委託契約を結んでいる。</p> | | | | |

○交流会の様子





○ 目標達成状況

| 指標 | 単位 | 当初目標値 | 実績値 | 備考 |
|---------|----|-------|-----|--|
| 研修会 | 回数 | 2回 | 0回 | 当初研修会で予定した内容を交流会で行ったため、研修会は開催しておりません。 |
| 研修会参加者数 | 人数 | 54人 | 0人 | ※研修会を開催していないため、0人としておりますが、交流会の参加者数は10人となっております。 (事務局除く) |
| 交流会 | 回数 | 1回 | 1回 | |

○ 事業成果

「纏」認定者3名

(津山市消防団 千代延拓磨 副分団長)

(美作市消防団 島拓也 班長)

(美作市消防団 新免大佑 班長)

2月26日(日)に岡山市内にて、「纏」認定者3名への認定書及び認定バッジを交付したとともに、「纏」認定者3名からの活動事例の発表や、県内各地の女性消防団員や役場職員の団員等7名(倉敷市、玉野市、美作市、美咲町)との意見交換を行った。

交流会では、若手団員が中心となって、地元の小学校のコミュニティースクール事業を活用し、親世代をターゲットにした新規団員の確保につなげているといった先進的な団員加入促進策の発表や、団の現状や課題等について参加者との意見交換などがあり、参加した団員からも、「他の団が行っている活動について知ることができ、大変有意義な交流会だった」という報告を受けている。

以上のことから、県内消防団の横の繋がりを構築することには消防団の充実強化に向けて大きな効果があることが確認できた。